

平成26年度 事業別予算概要

事業名	94703	市内遺跡発掘調査事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	根拠計画	実施計画・中期財政計画	市長公約
	種別			9	教育費	分野		4	文化	実施計画事業		市内遺跡発掘調査事業	
担当課	教育委員会事務局 文化財課		内線	項	4	社会教育費		基本施策	1	郷土の歴史や伝統文化を守り次代に伝える	H26実施計画額	2,000 千円	
			2355	目	7	文化財費		施策	1	文化財など保存・継承			

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	埋蔵文化財を保護し次代に伝える	概要	事業の実施手法(手段)	開発事業により影響を受ける埋蔵文化財を記録保存する。保存活用の必要な遺跡の内容を確認する。
	対象者数	92,097 人					

2 事業の推移・結果 (Do)

H24実績	石橋廃寺跡試掘調査、杉ヶ平遺跡試掘調査、松倉城跡測量調査、図面・遺物整理及び報告書作成						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	埋蔵文化財対応件数	件	目標値	15	15	15	15
成果指標	算出根拠等	埋蔵文化財発掘の届出、通知数	実績(見込)	15	26	15	
	達成率(%)		100	173	100		
成果指標	現地調査・指導件数	件	目標値	3	3	3	2
	算出根拠等	試掘調査件数	実績(見込)	1	3	3	
成果指標	達成率(%)		33	100	100		
	算出根拠等		目標値				
成果指標	算出根拠等		実績(見込)				
	達成率(%)						
成果指標	算出根拠等		目標値				
	算出根拠等		実績(見込)				
成果指標	算出根拠等		目標値				
	算出根拠等		実績(見込)				
補足	算出根拠等		目標値				
	算出根拠等		実績(見込)				
補足	算出根拠等		達成率(%)				

3 分析・評価 (Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	試掘調査などの効率的な実施。県補助金の復活によるコスト縮減。指定遺跡の調査の精度を上げ、歴史的価値の周知等により、市民への一層の意識向上を促す。
--------------------------	--

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH25対応状況	委託業務などで効率的な事業実施を目指す。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	開発に対応するため、事業の継続が必要である。国指定文化財指定に向け、調査の精度を上げる必要がある。
	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 4,087	4,120	3,000	4,126
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 44	44	33	45
受益者	一般市民	(B) 93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成 (Action2)

事業内容	・市内にある埋蔵文化財の発掘調査 ・開発事業に伴う試掘確認及び範囲確認調査	要求のポイント	・開発事業などに対応するための緊急目的の発掘調査 ・国の指導等による松倉城跡等の内容確認調査	事業実施の課題	国の史跡指定に向け必要な図面などの作成
------	--	---------	---	---------	---------------------

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	3,000	4,126	1,126	3,000	3,000	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金	1,500	2,060	560	1,500		
	県支出金			0			
	その他			0			
	一般財源	1,500	2,066	566	1,500		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	94710	郷土資料・図書購入事業	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	根拠計画	実施計画・中期財政計画		市長公約
	種別			款	9	教育費		分野	4	文化		実施計画事業	歴史資料購入事業	
担当課	教育委員会事務局 文化財課		内線	項	4	社会教育費		基本施策	1	郷土の歴史や伝統文化を守り次代に伝える	H26実施計画額	7,000 千円		
			2977	目	7	文化財費		施策	1	文化財などの保存・継承				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	郷土に関わる歴史資料の流失、散逸を防ぐとともに、市民の郷土学習に役立てる。	概要	事業の実施手法(手段)	郷土に関わる歴史資料を購入する。
	対象者数	92,097 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績		<ul style="list-style-type: none"> 郷土に関わる文人・画人の作品の購入 郷土の歴史に関わる古文書等の購入 伝統工芸品、民俗資料の購入 						
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	資料購入件数	件	目標値	15	15	15	15
				実績(見込)	65	60	20	
		算出根拠等		達成率(%)	433	400	133	
				目標値				
				実績(見込)				
		算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
		算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
	算出根拠等		達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	高山の歴史文化の資料充実のため、歴史的資源の散逸を防ぎ、市民に活用していただく必要がある。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況		飛騨高山まちの博物館収蔵品展等を行い、広く市民に公開、周知する。 購入した書籍などをデータベース化してHPで検索できるようにし、閲覧しやすくし、資料閲覧などを広報等での紹介。
次年度の実施方針	○維持・改善	継続的に貴重な歴史資料の購入を進める。 収蔵品展など市民への公開を継続的にすすめる。 学校などへ、資料の活用などの情報提供を行う。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○維持・改善	飛騨高山まちの博物館での展示も含め、購入した資料の更なる有効活用に取り組んでいく必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	10,662	6,944	7,000	7,000
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	114	75	76	76
	受益者	一般市民	(B)	93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	郷土に関わる歴史資料の購入。	要求のポイント	郷土に関する貴重な資料の公有化を進める。 歴史資料の流失、散逸を防ぐ。	事業実施の課題	・貴重な歴史資料には高額なものが多く、習得件数の増加とコスト面の関係を考え、計画的な取得を行う。 ・郷土学習に役立てる。
------	----------------	---------	--	---------	---

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	7,000	7,000	0	3,000	3,000	・精算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	7,000	7,000	0	3,000	3,000		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	94730	文化財保護事業補助金	予算	会計	1	一般会計	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	根拠計画	実施計画・中期財政計画		市長公約
種別	1			款	9	教育費		分野	4		文化	実施計画事業	
担当課	教育委員会事務局 文化財課		内線	項	4	社会教育費	基本施策	1	郷土の歴史や伝統文化を守り次代に伝える	H26実施計画額	6,000 千円		
			2356	目	7	文化財費	施策	1	文化財などの保存・継承				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	一般市民、文化財保存団体	どうしたいのか(意図)	地域で文化財を保存活用する活動を支援し、文化財の保存を図る	概要	事業の実施手法(手段)	文化財保護団体に対する助成。史跡や伝承芸能の保存にあたっている団体の運営・活動経費にあてるため必要な助成を行う。
	対象者数	92,097 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	<ul style="list-style-type: none"> 地区保存会(11団体) 屋台管理費(1団体) 高山祭屋台保存技術後継者育成(1団体) 		<ul style="list-style-type: none"> 伝承芸能保存団体(11団体) 市指定文化財管理(2団体) 史跡保存会補助(12団体) 		<ul style="list-style-type: none"> 国指定管理(8団体) 			
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	補助件数	件	目標値	46	47	49	47
				実績(見込)	46	47	47	
				達成率(%)	100	100	96	
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
		達成率(%)						
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	国等の補助金を活用するよう検討し、保存団体の積極的な文化財保護活動を支援していけるよう検討する。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	国等の補助金の活用により団体数や活動の拡充を図れるよう、情報提供や事務処理などの支援を行っている。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	保存団体と意見交換会を行い、情報提供を行ったり、連携を図る。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	制度の効果を検証する必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	5,980	6,007	7,379	7,638
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	64	65	80	83
	受益者	市民	(B)	93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	文化財保護団体に対する助成。史跡や屋台、町並景観等の保存には、実際に保存にあたっている団体の活動が重要であり、団体の運営・活動経費に充てるために必要な助成を行う。	要求のポイント	地域の宝である文化財を後世に伝承。保存活動の支援のために実施する。	事業実施の課題	保存会の高齢化や人数の確保
------	---	---------	-----------------------------------	---------	---------------

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		7,379	7,638	259	7,638	7,638	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	7,379	7,638	259	7,638	7,638		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	94733	国指定文化財保存修理事業補助金	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	根拠計画	市長公約
	種別			1	款	9		教育費	分野	4		
担当課	教育委員会事務局 文化財課		内線	項	4	社会教育費	H26実施計画額	基本施策	1	郷土の歴史や伝統文化を守り次代に伝える	千円	
	2354		目	7	文化財費	施策		1	文化財などの保存・継承			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	一般市民、文化財保存団体	どうしたいのか(意図)	文化財を保存活用することを支援し、文化財の保存を図る	概要	事業の実施手法(手段)	修理希望のあった国指定文化財について助成を行う。
	対象者数	92,097 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	荒城神社屋根葺き替え、国分寺大イチョウ修復							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	修理数	件	目標値		2	1	1
				実績(見込)		2	1	
				算出根拠等	達成率(%)		100	100
	成果面	算出根拠等		目標値				
				実績(見込)				
				算出根拠等	達成率(%)			
	成果面	算出根拠等		目標値				
				実績(見込)				
				算出根拠等	達成率(%)			
	成果面	算出根拠等		目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等				達成率(%)				
補足	算出根拠等		目標値					
			実績(見込)					
			算出根拠等	達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	修理の具体的な方針や基準を定める必要がある。
--------------------------	------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	修理の実施を行う際、設計士を入れ関係者と協議を行い、文化財審議会での協議を行い、適正な修理が行われるよう対応した。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	修理に対する文化財所有者のニーズは大きく、何年も待つような状態であるため、今後も事業を継続する必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	各文化財の状態を正確に把握し中長期的な計画を作成する等、計画的に取り組む必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 0	2,245	11,800	4,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 0	24	128	43
受益者	一般市民	(B) 93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	国指定重要文化財の修理保存	要求のポイント	事業実施の課題	国・県などと歩調を合わせていく必要がある。
------	---------------	---------	---------	-----------------------

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	11,800	4,000	△ 7,800	4,000	4,000	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
一般財源	11,800	4,000	△ 7,800	4,000	4,000		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	94740	市指定文化財保存修理事業補助金	予 算	会計	1	一般会計	総合計 画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	根拠計画	実施計画・中期財政計画	市長公約
種別				款	9	教育費		分野	4	文化		実施計画事業	
担当課	教育委員会事務局 文化財課		内線	項	4	社会教育費		基本施策	1	郷土の歴史や伝統文化を守り次代に伝える	H26実施計画額	1,000 千円	
			2354	目	7	文化財費		施策	1	文化財など保存・継承			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	一般市民	どうしたいのか(意図)	市指定文化財を保護し次代に伝える	概要	事業の実施手法(手段)	修理希望のあった市指定文化財について助成を行う。
	対象者数	92,097 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	白山神社覆殿 角正 田上家住宅							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	修理数	件	目標値	2	3	1	1
				実績(見込)	3	3	1	
				達成率(%)	150	100	100	
	算出根拠等	修理件数		目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
達成率(%)								
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	修理の具体的な方針や基準を定める必要がある。
--------------------------	------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	修理の実施を行う際、設計士を入れ関係者と協議を行い、文化財審議会での協議を行い、適正な修理が行われるよう対応した。		
次年度の 実施方針	○ 維持・改善	修理に対する文化財所有者のニーズは大きく、何年も待つような状態であるため、今後も事業を継続する必要がある。	
	拡大		
	縮小		
	廃止検討		
	○ 維持・改善		各文化財の状態を正確に把握し中長期的な計画を作成する等、計画的に取り組む必要がある。
	拡大		
縮小			
	廃止検討		

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	11,277	9,999	4,000	10,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	121	108	43	109
	受益者	一般市民	(B)	93,312	92,861	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	市指定文化財の保存修理	要求のポイント	事業実施の課題
------	-------------	---------	---------

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	4,000	10,000	6,000	10,000	10,000	・要求どおり ・緊急度の高い施設から実施	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
一般財源	4,000	10,000	6,000	10,000	10,000		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	94745	文化財関係事務費	予算	会計	1	一般	総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	根拠計画	市長公約
	種別			9	教育費	分野		4	文化	実施計画事業		
担当課	教育委員会事務局 文化財課		内線	項	4	社会教育費	H26実施計画額	基本施策	1	郷土の歴史や伝統文化を守り次代に伝える	千円	
	2356	目	7	文化財費	施策	1		文化財などの保存・継承				

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	文化財保護行政円滑な執行	概要	事業の実施手法(手段)	文化財関係の協議会等への参加、負担金支出
	対象者数	92,097 人					

2 事業の推移・結果 (Do)

H24実績	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
				目標値	実績値	達成率(%)	目標値
成果面	算出根拠等		目標値				
			実績値				
			達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
			実績値				
			達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
			実績値				
			達成率(%)				
	講座受講者数		目標値				
			実績値				
			達成率(%)				
算出根拠等		目標値					
		実績値					
		達成率(%)					
算出根拠等		目標値					
		実績値					
		達成率(%)					
算出根拠等		目標値					
		実績値					
		達成率(%)					
補足							

3 分析・評価 (Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	
--------------------------	--

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況		
次年度の実施方針	○ 維持・改善	文化財保護行政の円滑な執行。
	拡大	
	縮小	
	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	862	805	1,127	5,597
受益者1件当たり(円)	(A/B)	9	9	12	61	
受益者	全市民	(B)	93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成 (Action2)

事業内容	・文化財保護行政の円滑な執行 ・文化財審査会、伝建審議会の運営	要求のポイント	・文化財緊急保護用原材料の増	事業実施の課題	
------	------------------------------------	---------	----------------	---------	--

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		1,127	5,597	4,470	1,527	1,527	・積算内容を精査 ・歴史的風致維持向上事業より、美しいふるさと認証制度を移行 ・買金を、市史編纂事業費に移行	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	104		△104	104	104		
	その他()			0				
	一般財源	1,023	5,597	4,574	1,423	1,423		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	94750	文化財啓発事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	根拠計画	実施計画・中期財政計画	市長公約	9伝統文化を守り、次代へ継承します 国内外から訪れる多くの観光客に名所旧跡、文化財等をわかりやすく紹介するため、パンフレット、説明看板等の整備や、人と人とのつながりを大切に 語り部の育成に取り組みます
種別				款	9	教育費		分野	4	文化		実施計画事業		
担当課	教育委員会事務局 文化財課		内線	2355	項	4	社会教育費	基本施策	1	郷土の歴史や伝統文化を守り次代に伝える	H26実施計画額	5,000 千円		
				目	7	文化財費		施策	2	親しみ理解する機会の充実				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 全市民	どうしたいのか(意図)	文化財を良好に維持し、文化的価値を幅広く広めることで文化財に対する意識を高める。	概要	事業の実施手法(手段)	文化財の活用・啓発のため、指定文化財等の位置、内容等を記載した説明看板、石柱等を作製設置する。 外国語の案内看板等を整備する。
	対象者数	92,097 人				

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	<ul style="list-style-type: none"> 既設文化財説明看板の修繕及び多言語化を実施 支所地域での文化財標柱の設置 						
活動指標	設置数	箇所	目標値	15	8	3	5
	実績(見込)			11	10	3	
成果指標	算出根拠等		達成率(%)	73	125	100	
	公開数	箇所	目標値	15	8	3	5
成果面	算出根拠等		実績(見込)	11	10	3	
			達成率(%)	73	125	100	
補足			目標値				
	算出根拠等		実績(見込)				
			達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
			実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
	算出根拠等		実績(見込)				
			達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
			実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	文化財標柱設置に係るコストの縮減
--------------------------	------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	一本当たりの単価を抑えるため、支所別に契約しているものを一括で入れを行う。 説明看板等の多言語化を進める。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	平成26年度で地域振興予算での文化財標柱作成は終了。 計画的に高山市全体の説明看板や石柱等の設置を行う。
	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	(担当課評価に同じ)

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 540	548	500	630
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 6	6	5	7
	受益者 一般市民	(B) 93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	文化財標識等の作成設置及び既設看板の修繕、多言語化	要求のポイント	・順次計画的に設置を行い、見学者等の利便が図られるとともに、文化財保護の精神を高める。 ・多言語説明看板の設置	事業実施の課題	新規のものについては、順次計画的な設置を行い、既存の説明看板についても順次修繕、多言語化を行う。
------	---------------------------	---------	--	---------	--

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	500	630	130	500	500	・精算内容を精査し、前年並み事業費とする	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
一般財源	500	630	130	500	500		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	94753	世界文化遺産登録推進事業	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	根拠計画	実施計画・中期財政計画		市長公約	9伝統文化を守り、次代へ継承します 国内外から訪れる多くの観光客に名所旧跡、文化財等をわかりやすく紹介するため、パンフレット、説明看板等の整備や、人と人のつながりを大切に 語り部の育成に取り組めます
	種別			款	9	教育費		分野	4	文化		実施計画事業	世界文化遺産登録推進・歴史ボランティア育成支援事業		
担当課	教育委員会事務局 文化財課		内線	項	4	社会教育費	H26実施計画額	基本施策	1	郷土の歴史や伝統文化を守り次代に伝える	1,000 千円				
			2356	目	7	文化財費		施策	1	文化財などの保存・継承					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 全市民	どうしたいのか(意図)	高山の町並等の世界遺産への登録 高山祭の屋台行事のユネスコ無形文化遺産への登録 歴史ボランティアの育成	概要	事業の実施手法(手段)	世界文化遺産登録に向けての啓発活動等 ユネスコ無形文化遺産の啓発活動等 ボランティア講座の開設
	対象者数	92,097 人				

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	高山市歴史講座の中で町並み保存(耐震)、飛騨国絵図をテーマとした講座等を開催し、啓発に努めた。 提案地区区内で各種会合の際に、啓発活動を積極的に実施した							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	啓発件数	回	目標値	100	100	100	100
				実績値	100	100	100	
	算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
	活動指標	ボランティア講座の開設	回	目標値	8	8	8	8
				実績値	12	17	8	
	算出根拠等			達成率(%)	150	213	100	
	成果指標	世界(有形・無形)文化遺産の登録件数	件	目標値	2	2	2	2
				実績値	0	0	0	
	算出根拠等			達成率(%)	0	0	0	
	成果指標	講座受講者数	人	目標値	150	150	150	250
				実績値	561	598	250	
算出根拠等			達成率(%)	374	399	167		
算出根拠等			達成率(%)					
算出根拠等			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	世界遺産登録を目指すために、文化庁との連携を密にし、課題解決に臨みたい。 ボランティアガイドの育成は継続して行い、幅広い人々に啓発する必要がある。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	世界文化遺産登録に向けて、啓発活動等。無形文化遺産の登録に向けて、文化庁との連携を密にする。 まちの博物館でボランティアガイドを開始、市全体への足がかりとする。 ボランティアの育成に向け、講座を開設を行うことで、次年度のボランティアガイドの増員につながる。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	世界文化遺産登録に向けて、啓発活動等を積極的に行う。 無形文化遺産の登録に向けて、文化庁との連携を密にする。 ボランティアガイドの増員があり、その方々のスキルアップのため、専門の講座の開設を行う。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	146	100	500	1,252
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	2	1	5	14
	受益者	全市民	(B)	93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	世界文化遺産登録に向けての啓発活動等 歴史ボランティア育成支援事業 ・啓発講演会の実施 ・歴史ボランティア講座の開催等 ・ボランティアの子供への啓発による歴史文化の継承への意識付け	要求のポイント	講座開設による歴史ボランティアの育成 ・歴史ボランティア講座用チラシ作製【拡大】 講演会実施による、世界遺産登録への啓発	事業実施の課題	・地域の文化資源の保存活用のため、市民への啓発や自ら保存活用に取り組む人材を育成する必要がある。 ・子どもたちへの歴史や文化資源の正しい理解や継承のため、様々な機会を揃えて教育することが重要。
------	--	---------	--	---------	---

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	500	1,252	752	500	500	・精算内容を精査し、前年並み事業費とする	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他()			0				
一般財源	500	1,252	752	500	500		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	94754	歴史的風致維持向上事業	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	根拠計画	歴史的風致維持向上計画	市長公約	9伝統文化を守り、次代へ継承します 国内外から訪れる多くの観光客に名所旧跡、文化財等をわかりやすく紹介するため、パンフレット、説明看板等の整備や、人と人とのつながりを大切に 語り部の育成に取り組みます
	種別			9	教育費	分野		4	文化	実施計画事業		歴史的建造物耐震化等対策事業・城下町歴史的風致維持向上事業		
担当課	教育委員会事務局 文化財課		内線	項	4	社会教育費	H25実施計画額	基本施策	1	郷土の歴史や伝統文化を守り次代に伝える	3,500 千円			
			2356	目	7	文化財費		施策	1	文化財などの保存・継承				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	郷土の有形無形の伝統文化を次代に伝える体制を整える	概要	事業の実施手法(手段)	祭礼復興事業として、地域の祭りなどを昔ながらの衣装などに整備する。 また、ふるさと伝承記録として、伝承芸能等を記録として残す。
	対象者数	92,097 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	祭礼復興事業として、地域の祭りなどを昔ながらの衣装などに整備した。 また、ふるさと伝承記録として、国府地域の金蔵獅子を記録として残した。								
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26	
	活動指標	祭礼衣装の整備件数	回	目標値	1	3	1	0	
				実績値	1	3	0		
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	0	
	活動指標	伝承芸能記録作成回数	回	目標値	1	1	1	1	
				実績値	1	1	1		
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	100	
	成果指標	祭礼の数	件	目標値	1	3	1	1	
				実績値	3	3	1		
				算出根拠等	達成率(%)	300	100	100	
	補足				目標値				
					実績値				
			算出根拠等	達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	祭礼復興事業やふるさと伝承記録は継続して行う必要がある。
--------------------------	------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	祭礼復興事業として、地域の祭りなどを昔ながらの衣装などに整備する。 また、ふるさと伝承記録として、伝承芸能等を記録として残す。	
次年度の 実施方針	○維持・改善	維持・改善
	拡大	祭礼復興事業はH24年度で終了。 ふるさと伝承記録は継続して、伝承芸能等を記録として残す。
	縮小	
	廃止検討	
	○維持・改善	維持・改善
	拡大	(担当課評価に同じ)

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	0	0	4,000	2,622
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	0	0	43	28
	受益者	全市民	(B)	93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	歴史的風致維持向上のための事業を行う。 ・ふるさと伝承記録整備事業 ・歴史的建造物耐震化対策事業 ・美しいふるさと認証制度	要求のポイント	・歴史的建造物耐震化マニュアル運用 ・まちなみ保存対策調査(建築基準法緩和に関する基礎調査) [拡大] ・ふるさと伝承記録整備 ・美しいふるさと認証制度運用	事業実施の課題	・市全体のまちなみ保存の考え方の統一。 ・歴史的建造物耐震化マニュアル作成後の運営等にかかる周知。 ・美しいふるさと認証制度の運用
------	--	---------	---	---------	---

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		4,000	2,622	△ 1,378	1,500	1,500	・積算内容を精査 ・伝統的建造物耐震化マニュアル技術者講習に要する経費を計上 ・美しいふるさと認証制度は、文化財関係事務費へ移行	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他()	450		△ 450	20	20		
	一般財源	3,550	2,622	△ 928	1,480	1,480		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	94755	伝統的建造物群保存地区保存事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	根拠計画	実施計画・中期財政計画	市長公約	9	伝統文化を守り、次代へ継承します ◎美しいふるさとと伝統文化を守り次代に継承します。 ・国内外から訪れる多くの観光客に名所旧跡、文化財等を分かりやすく紹介するためパンフレット、説明版等の整備や、人と人のつながりを大切に語り部の育成に取り組みます。
	款			9	教育費	分野		4	文化	実施計画事業		歴史的町並保存事業			
担当課	教育委員会事務局 文化財課			内線	2354			基本施策	1	郷土の歴史や伝統文化を守り次代に伝える	H26実施計画額	40,000 千円			
				項	4	社会教育費		施策	1	文化財など保存・継承					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 市民・観光客	どうしたいのか(意図)	伝建地区内における伝建物の保存整備、及び非伝建物の景観復元し、伝統的な景観を維持する。	概要	事業の実施手法(手段)	伝建地区内における伝建物の修理及び、非伝建物の修景事業に対する補助等。
	対象者数	3,861,747 人				

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	修理7件							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	修理修景件数	件	目標値	9	6	10	10
				実績(見込)	10	7	9	
	算出根拠等			達成率(%)	111	117	90	
				目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	コストなどの縮減につとめ、効率的に事業を実施する必要がある。県費補助金の復活。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	コスト縮減の視点から、修理家屋等それぞれの設計書の点検や見直しを行った。 文化財審議会での協議で決めた修理・修景方針に基づき事業実施する。	
次年度の実施方針	○維持・改善	保存計画に基づき、今後も継続実施する。
	拡大	
	縮小	
	○維持・改善	伝統的建築物に対応した耐震構法マニュアルを早急に整備する必要がある。 ・保存計画に基づき今後も継続して実施するとともに、建築物の使用形態や屋外広告物なども含め、地区全体のあり方について地元住民等とともに考える必要がある。
拡大		
二次評価	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	40,420	40,487	40,500	41,140
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	10	10	10	11
	受益者	観光客	(B)	3,861,747	3,861,747	3,861,747	3,861,747

5 予算編成(Action2)

事業内容	伝統的建造物群保存地区「高山市三町」「高山市下二之町大新町」内の建物の修理、修景事業に対する助成	要求のポイント	・伝建地区の制度について理解を深めるための講習会の開催 ・伝建地区住民を対象とした相談窓口の開設	事業実施の課題	伝建地区内の特定物件の追加。 保存計画の見直し。
------	--	---------	---	---------	-----------------------------

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		40,500	41,140	640	40,500	40,500	・精算内容を精査し、前年並み事業費とする	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金	20,000	20,000	0	20,000	20,000		
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	20,500	21,140	640	20,500	20,500		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	94757	伝統的建造物群保存地区防災対策事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	根拠計画	実施計画・中期財政計画	市長公約	9	伝統文化を守り、次代へ継承します ◎美しいふるさとの伝統文化を守り次代に継承します。 ・国内外から訪れる多くの観光客に名所旧跡、文化財等を分かりやすく紹介するためパンフレット、説明版等の整備や、人と人のつながりを大切に語り部の育成に取り組みます。
	種別			9	教育費	分野		4	文化	実施計画事業		歴史的町並防災対策事業			
担当課	教育委員会事務局 文化財課			内線	2354			基本施策	1	郷土の歴史や伝統文化を守り次代に伝える	H26実施計画額		千円		
				目	7	文化財費		施策	1	文化財など保存・継承					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民・観光客	どうしたいのか(意図)	伝建地区を災害に強い町並とするために、伝建地区の土蔵の修理や防災設備の整備を継続して実施し、防火能力の向上をさせる。	概要	事業の実施手法(手段)	伝建地区内の土蔵等修理事業に対する補助、防災設備の整備等。
	対象者数	3,861,747 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	消火栓設置、グループ火災自火報1地区、土蔵修理6件							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	伝建地区土蔵等修理実施件数	件	目標値	6	5	4	7
				実績(見込)	7	6	3	
				算出根拠等	達成率(%)	117	120	75
				目標値				
				実績(見込)				
				算出根拠等	達成率(%)			
				目標値				
				実績(見込)				
				算出根拠等	達成率(%)			
				目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等				達成率(%)				
			目標値					
			実績(見込)					
			算出根拠等	達成率(%)				
			目標値					
			実績(見込)					
			算出根拠等	達成率(%)				
補足								

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	地元との入念な打合せを行いながら事業を推進する必要がある。
--------------------------	-------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	防災計画に基づき事業実施した。		
次年度の実施方針	○ 維持・改善	拡大	保存計画、防災計画に基づき、今後も継続実施する。
		縮小	
		廃止検討	
	○ 維持・改善	拡大	(担当課評価に同じ)
		縮小	
		廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	40,000	39,958	40,500	40,000
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	10	10	10	10
	受益者	観光客	(B)	3,861,747	3,861,747	3,861,747	3,861,747

5 予算編成(Action2)

事業内容	補助事業者が実施する、土蔵修理やグループ自火報整備の支援	要求のポイント	国選定重要建造物群保存地区の初期消火・防災機能の強化	事業実施の課題	土蔵修理希望者が多く、希望年度に補助できない場合がある。
------	------------------------------	---------	----------------------------	---------	------------------------------

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		41,300	40,000	△ 1,300	40,000	40,000	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金	20,000	20,000	0	20,000	20,000		
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	21,300	20,000	△ 1,300	20,000	20,000		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	94759	歴史的遺産等保存活用事業	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	根拠計画	実施計画・中期財政計画	市長公約	伝統文化を守り、次代へ継承します ◎美しいふるさとの伝統文化を守り次代に継承します。 ・国内外から訪れる多くの観光客に名所旧跡、文化財等を分かりやすく紹介するためパンフレット、説明版等の整備や、人と人のつながりを大切に語り部の育成に取り組みます。
	種別			9	教育費	分野		4	文化	実施計画事業		歴史街道等活用事業		
担当課	教育委員会事務局 文化財課		内線	項	4	社会教育費		基本施策	1	郷土の歴史や伝統文化を守り次代に伝える	H26実施計画額	8,000 千円		
			2354	目	7	文化財費		施策	1	文化財など保存・継承				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	一般市民	どうしたいのか(意図)	歴史街道の整備及び周知を行い、郷土の歴史や文化を次代に伝える。	概要	事業の実施手法(手段)	1.歴史街道周辺の文化的景観地等保全計画策定 2.地元農村景観保存組織立ち上げ支援 3.歴史街道ルート復元整備 4.歴史街道およびその周辺に説明版設置 5.歴史街道沿いの休憩、拠点施設の活用及び整備 6.天然記念物の現況調査、保護対策
	対象者数	92,097 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	歴史街道(越中街道)調査委託						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	測量・整備箇所	箇所	目標値	4	5	1	1
成果指標	算出根拠等		実績(見込)	4	2	1	
	整備街道数	箇所	達成率(%)	100	40	100	
成果面	算出根拠等		目標値	2	3	1	1
	整備街道数		実績(見込)	2	2	1	
補足	算出根拠等		達成率(%)	100	67	100	
			目標値				
補足	算出根拠等		実績(見込)				
			達成率(%)				
補足	算出根拠等		目標値				
			実績(見込)				
補足	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
補足	算出根拠等		実績(見込)				
			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	地域からの要望も取り入れ、また活用方法についても検討していく。
--------------------------	---------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	修理の実施を行う際、設計士を含めて関係者との協議、文化財審議会での協議を行い、適正な修理が行われるよう対応した。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	実施計画、中期財政計画に基づき今後も実施する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	事業効果を検証する必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 3,867	3,811	2,000	3,602
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 41	41	22	39
	受益者 一般市民	(B) 93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	歴史街道の整備、周知を行い、郷土の歴史や文化を次世代に伝える。各支所域の歴史的建造物や近代遺産、天然記念物など重要な資源の保存対策調査及び計画策定を行う。	要求のポイント	事業実施の課題	調査や整備後の街道の活用
------	---	---------	---------	--------------

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	2,000	3,602	1,602	1,500	1,500	・精算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
一般財源	2,000	3,602	1,602	1,500	1,500		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	94760 種別 1	高山祭屋台保存修理事業費	会計	1 一般会計	政策	5 「ゆたかさ」のあるまちをめざして	根拠計画	実施計画・中期財政計画	市長公約
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	款	9 教育費	分野	4 文化	実施計画事業	屋台整備事業	
	2356		項	4 社会教育費	基本施策	1 郷土の歴史や伝統文化を守り次代に伝える	H26実施計画額	40,000 千円	
			目	7 文化財費	施策	1 文化財などの保存・継承			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 屋台組、一般市民	どうしたいのか(意図)	江戸時代から続く日本有数の祭の一つとして数えられる高山祭の宝として、後世に残していく。	概要	事業の実施手法(手段)	国、県、受益者負担により緊急に修理が必要なものから、順次修理を行う。
	対象者数	92,097 人				

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	<ul style="list-style-type: none"> 金鳳台、大八台、恵比須台 修理 石橋台蔵 修理 								
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26	
	活動指標	屋台及び屋台蔵の修理事件数		件	目標値	3	4	6	5
					実績(見込)	4	4	6	
		算出根拠等			達成率(%)	133	100	100	
	補足				目標値				
					実績(見込)				
		算出根拠等			達成率(%)				
					目標値				
					実績(見込)				
		算出根拠等			達成率(%)				
					目標値				
					実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)						
			目標値						
			実績(見込)						
算出根拠等			達成率(%)						

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	国指定重要有形民俗文化財を維持するため、地元や文化庁との調整を行い、計画的に事業を実施する。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	国指定重要有形民俗文化財を維持するため、地元や文化庁との調整を行い、計画的に事業を実施する。技術保有者を認定し、修理を実施していくことで伝統構法や技術の継承などにも寄与している。		
次年度の実施方針	○ 維持・改善	国指定重要有形民俗文化財を維持するため、地元や文化庁との調整を行い、計画的に事業を実施する。	
	拡大		
	縮小		
	廃止検討		
	○ 維持・改善		(担当課評価に同じ)
	拡大		
縮小			
	廃止検討		

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	37,934	37,901	40,000	40,000
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	407	408	434	434
	受益者	市民	(B)	93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	国指定重要有形民俗文化財高山祭屋台及び屋台蔵の保存修理。 23台全屋台を年次計画に基づき、修理。 屋台収蔵施設である屋台蔵の修理、防災対策。	要求のポイント	・屋台修理技術等の伝承	事業実施の課題	原材料等の高騰によるコストの増加
------	--	---------	-------------	---------	------------------

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		40,000	40,000	0	40,000	40,000	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金	20,000	20,000	0	20,000	20,000		
	県支出金			0				
	その他	4,000	4,000	0	4,000	4,000		
	一般財源	16,000	16,000	0	16,000	16,000		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	94783	市史編纂事業費	予算	会計	1	一般	総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	根拠計画	実施計画・中期財政計画	市長公約
	種別			款	9	教育費		分野	4	文化		実施計画事業	
担当課	教育委員会事務局 文化財課		内線	項	4	社会教育費		基本施策	1	郷土の歴史や伝統文化を守り次代に伝える	H25実施計画額	25,000 千円	
	2356			目	7	文化財費		施策	1	文化財などの保存・継承			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	郷土の歴史を次代に伝える	概要	事業の実施手法(手段)	高山市史編纂
	対象者数	92,097 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績		・資料編として「飛騨国絵図」を発刊した。 ・絵図に関する講演会を開催し、市民への関心を高めた。					
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	刊行がなされた市史等の巻数	巻	目標値 実績値	1 1	1 1	1 1	1 1
成果指標	算出根拠等		達成率(%)	100	100	100	
	作製した冊数	冊	目標値 実績値	300 300	300 300	300 300	300 300
成果面	算出根拠等		達成率(%)	100	100	100	
			目標値 実績値				
補足	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値 実績値				

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	様々な機会をとらえて、市史等の情報を提供し、より多くの受益者が歴史や文化に触れるようにする必要がある。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	ホームページにも絵図を公開し、教育や観光振興に活用できるよう配慮した。テーマに沿った講座の開催や特別展の開催など、幅広く行った。発刊計画の見直しを行う。																
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>○維持・改善</td> <td>維持・改善</td> </tr> <tr> <td>○拡大</td> <td>「建造物」を発刊予定。絵図に関する講演会を開催し、市民への関心を高める。</td> </tr> <tr> <td>○縮小</td> <td>ホームページにも絵図を公開し、教育や観光振興に活用できるよう配慮する。</td> </tr> <tr> <td>○廃止検討</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○維持・改善</td> <td>維持・改善</td> </tr> <tr> <td>○拡大</td> <td>(担当課評価に同じ)</td> </tr> <tr> <td>○縮小</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○廃止検討</td> <td></td> </tr> </table>	○維持・改善	維持・改善	○拡大	「建造物」を発刊予定。絵図に関する講演会を開催し、市民への関心を高める。	○縮小	ホームページにも絵図を公開し、教育や観光振興に活用できるよう配慮する。	○廃止検討		○維持・改善	維持・改善	○拡大	(担当課評価に同じ)	○縮小		○廃止検討	
○維持・改善	維持・改善																
○拡大	「建造物」を発刊予定。絵図に関する講演会を開催し、市民への関心を高める。																
○縮小	ホームページにも絵図を公開し、教育や観光振興に活用できるよう配慮する。																
○廃止検討																	
○維持・改善	維持・改善																
○拡大	(担当課評価に同じ)																
○縮小																	
○廃止検討																	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 3,994	6,385	8,334	8,526
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 43	69	90	93
	受益者 全市民	(B) 93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	高山市史の発刊 ・市史「建造物」の発刊 ・発刊に向けての調査・研究 ・高山の歴史や文化に関する資料の発掘、購入	要求のポイント	・新高山市史の発刊	事業実施の課題	・長期的な事業となるため、計画的な実施と効率的な事務の推進が必要 ・発刊した市史をホームページで公開するなどすることで、市史の発刊数を抑える。
------	--	---------	-----------	---------	--

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	8,334	8,526	192	10,764	10,764	・積算内容を精査し、前年並み事業費とする ・文化財関係事務費より、賃金を移行	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他()	75	75	0	100	100		
一般財源	8,259	8,451	192	10,664	10,664		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	94800	飛騨高山まちの博物館管理費	予算	会計	1	一般会計	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	根拠計画	実施計画・中期財政計画		市長公約
	種別			款	9	教育費		分野	4		文化	実施計画事業	
担当課	教育委員会事務局 文化財課		内線	項	4	社会教育費	基本施策	1	郷土の歴史や伝統文化を守り次代に伝える	H26実施計画額	83,000 千円		
				目	8	文化財施設費	施策	2	親しみ理解する機会の充実				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	一般市民、観光客	どうしたいのか(意図)	市民や観光客が気軽に集い憩う中で、城下町高山の歴史や文化に触れることにより、郷土愛の醸成を図り、また、観光客に高山の歴史を感じてもらうことで高山の魅力を知ってもらい、リピーターを増やす。	概要	事業の実施手法(手段)	城下町高山を中心とした歴史文化について資料収集、調査研究、展示、教育普及などの活動をおこなう。
	対象者数	92,097 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績		<ul style="list-style-type: none"> 施設維持のための休館日を1日に抑えた。 高山城についての解説資料とするとともに、市内の周遊性を向上させるため、高山城跡周遊マップを活用した。 展示解説等の見直しを順次行い、わかりやすい展示になるよう努めた。 						
成果 指 標	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動 指 標	開館日数	日	目標値	360	360	360	360
		実績(見込)	365	364	364			
	算出根拠等			達成率(%)	101	101	101	
	活動 指 標	展示見直し室数	室	目標値	3	3	3	3
		実績(見込)	3	4	5			
	算出根拠等			達成率(%)	100	133	167	
	成果 指 標	来館者数	人	目標値	72,000	72,000	72,000	72,000
		実績(見込)	188,130	184,315	180,000			
	算出根拠等	360日×200人		達成率(%)	261	256	250	
	成果 指 標	研修室利用回数	回	目標値	120	120	120	120
		実績(見込)	208	212	200			
算出根拠等			達成率(%)	173	177	167		
補 足			目標値					
			実績(見込)					
				達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	子ども、高山についての基礎知識のない人、外国人にも分かりやすい展示となるよう、解説等を順次見直ししていくことが必要。高山の魅力を面的に理解してもらうため、周遊マップ作成等の取組みが必要。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	展示見直しを順次実施中。他の事業との連携で歴史資料等の活用を考える。解説シート等を企画中。周遊拠点としての位置づけを強化するため、周遊ルートの拡大を検討する。	
次年度の 実施方針	維持・改善	
	○ 拡大	動線がわかりにくいため、案内表示を増やすほか、新たな展示物配置等の工夫で見やすい環境を整える。多くの人に高山の魅力を理解してもらえよう、解説シート等の印刷物を作成する。
	縮小	
	○ 廃止検討	
二次評価	維持・改善	
拡大	ガイドの育成等により、まちめぐりの拠点としてより多くの人が利用し、高山の魅力を理解してもらえよう取り組む必要がある。	
縮小		
廃止検討		

コスト面

コスト 指 標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	20,736	27,817	25,783	39,467
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	222	300	280	429
	受益者	一般市民	(B)	93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	飛騨高山まちの博物館の管理運営。 郷土の歴史資料の公開、子供への歴史文化の継承、主要な研究者による郷土研究への情報提供及び資料の保存等を行う。 教育普及活動、資料整理、各種講座開催、資料保存庫置、施設維持管理、毀損箇所等修繕 等	要求のポイント	・未来の高山を担う子供達のための教育普及活動の充実 ・子供や外国人にも分かりやすい展示とするための解説等を充実	事業実施の課題	・他の博物館施設等との連携 ・市民・観光客・外国人、大人・子供、団体・個人・身障者等、多様な来館者への対応(ソフト、ハード両面)
------	--	---------	--	---------	---

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		25,783	39,467	13,684	27,323	27,323	・精算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	45	45	0	45	45		
	一般財源	25,738	39,422	13,684	27,278	27,278		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	94815	鳳土記の丘学習センター等管理費	予算	会計	1	一般会計	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	根拠計画	実施計画・中期財政計画		市長公約
	種別			款	9	教育費		分野	4		文化	実施計画事業	
担当課	教育委員会事務局 文化財課			内線	2356	目	8	文化施設費	基本施策	1	郷土の歴史や伝統文化を守り次代に伝える	H26実施計画額	83,000 千円
								施策	2	親しみ理解する機会の充実			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	一般市民、研究者	どうしたいのか(意図)	郷土の歴史に対して興味、関心を深め、文化財愛護意識を高めるとともに、出土品等の整理・調査研究を行い、郷土の歴史を次代に伝える。	概要	事業の実施手法(手段)	歴史民俗資料館の管理活用 市内遺跡の出土品の整理等
	対象者数	92,097 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	鳳土記の丘学習センター、国府文化財保護センター管理費								
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
		開館日数	日	目標値	248	247	251	248	
		実績(見込)	248	247	251				
		算出根拠等	達成率(%)	100	100	100			
	活動指標	自主事業数	事業	目標値	6	6	6	6	
				実績(見込)	6	6	6		
		算出根拠等	達成率(%)	100	100	100			
		成果指標	入館者数	人	目標値	7,200	7,200	7,200	7,200
	実績(見込)				6,170	5,489	7,000		
	算出根拠等		達成率(%)	86	76	97			
	補足				目標値				
		実績(見込)							
算出根拠等		達成率(%)							
				目標値					
	実績(見込)								
算出根拠等	達成率(%)								

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	埋蔵文化財の展示を充実し、収蔵された資料が閲覧しやすいように整備する。施設が分かりにくい場所にあるため、体験講座の実施などで周知が必要。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	夏休みに新しい体験講座を開催する。縄文時代等の理解を深める体験講座を企画し、歴史的な文化に触れる機会を増やし、理解を深める。		
次年度の実施方針	○ 維持・改善	拡大	事業の充実、展示の見直し等を実施し、歴史遺産の活用を図る。出土品の適正な整理保存を行う。
		縮小	
		廃止検討	
	○ 維持・改善	拡大	(担当課評価に同じ)
		縮小	
		廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	3,668	8,023	3,926	5,362
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	39	86	43	58
	受益者	市民	(B)	93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	鳳土記の丘学習センターの管理及び活用に係る経費	要求のポイント	地域住民等と連携した事業の開催。体験教室の充実。	事業実施の課題	入館者数の増加に向けた取り組み
------	-------------------------	---------	--------------------------	---------	-----------------

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	3,926	5,362	1,436	3,906	3,906	・精算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
一般財源	3,926	5,362	1,436	3,906	3,906		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	94840	文化財施設管理費	予算	会計	1	一般会計	総 計 画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	根拠計画	実施計画・中期財政計画	市長公約
種別	1			款	9	教育費		分野	4	文化		実施計画事業	
担当課	教育委員会事務局 文化財課		内線	項	4	社会教育費	基本施策	1	郷土の歴史や伝統文化を守り次代に伝える	H26実施計画額	83,000 千円		
			2356	目	8	文化施設費	施策	2	親しみ理解する機会の充実				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民	どうしたいのか(意図)	郷土の歴史に対して興味、関心を深め、文化財愛護意識を高めるとともに、郷土の歴史を次代に伝える。収蔵庫による、文化財資源等の適正な管理	概要	事業の実施手法(手段)	指定文化財施設の管理活用
	対象者数	92,097 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	指定管理施設7施設(30,540千円) など						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	開館日数	日	目標値	286	280	280	365
成果指標	算出根拠等		実績(見込)	286	280	365	
			達成率(%)	100	100	130	
成果面	入館者数	人	目標値	100,000	100,000	100,000	100,000
	算出根拠等		実績(見込)	128,635	201,975	200,000	
成果面			達成率(%)	129	202	200	
	算出根拠等		目標値				
成果面			実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				
補足			目標値				
	算出根拠等		実績(見込)				
			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	保存してだけでなく、活用についても検討が必要。
--------------------------	-------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	事業の充実、パンフレットの見直し、作成、展示の見直し等文化財施設としての活用の充実を図る。	
次年度の実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	特別展を開催、それに併せた展示やパンフレットの見直し等を行う。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	ランニングコストの低減を図りつつ、展示の見直し等、文化財施設の活用充実を図る必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額		
	歳出(千円)	(A)	42,785	43,967	46,720	54,854	
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	459	473	507	596	
	受益者	市民	(B)	93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	高山陣屋前広場ほか、文化財所管の各施設に係る維持管理経費	要求のポイント	・文化財施設の維持管理に要する経費を計上	事業実施の課題	施設の老朽化による修繕費の増加。
------	------------------------------	---------	----------------------	---------	------------------

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	46,720	54,854	8,134	46,468	46,468	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他	194	194	0	194	194		
一般財源	46,526	54,660	8,134	46,274	46,274		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	94845	飛騨高山まちの博物館特別展開催事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市教育振興基本計画		市長公約
	種別			9	教育費	分野		4	文化	実施計画事業		歴史文化理解推進事業・郷土先人等顕彰事業		
担当課	教育委員会事務局 文化財課			内線	2977			基本施策	1	郷土の歴史や伝統文化を守り次代に伝える	H26実施計画額	2,200 千円		
				目	8	文化財施設費		施策	2	親しみ理解する機会の充実				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	一般市民、観光客	どうしたいのか(意図)	市民や観光客が気軽に集い憩う中で、城下町高山の歴史や文化に触れることにより、郷土愛の醸成を図り、また、観光客に高山の歴史を感じてもらうことで高山の魅力を知ってもらい、リピーターを増やす。	概要	事業の実施手法(手段)	城下町高山を中心とした歴史文化について、一つのテーマについて深く掘り下げた展示及び講演会などの関連行事をおこなう。
	対象者数	92,097 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	<ul style="list-style-type: none"> 特別展を4回開催。内1回は他団体との共催で実施。 関連事業として講演会のほか、クイズラリーを行い、子供にも楽しめる展示とした。 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	実施回数	回	目標値	4	4	4	4
				実績(見込)	4	4	5	
	成果指標	算出根拠等		達成率(%)	100	100	125	
				目標値	40,000	40,000	40,000	40,000
	成果指標	会期中来館者数	人	実績(見込)	140,822	138,059	140,000	
				達成率(%)	352	345	350	
	成果面	算出根拠等	10,000人×4回	目標値				
				実績(見込)				
	成果面	算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
	成果面	算出根拠等		実績(見込)				
達成率(%)								
補足	算出根拠等		目標値					
			実績(見込)					
補足	算出根拠等		達成率(%)					
			目標値					
補足	算出根拠等		実績(見込)					
			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	より多くの人が関心を持って参加できる企画を実施すること。
--------------------------	------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	特別展開連行事を行い、関心を持って見ていただけるよう努めている。小学校への出張展示を行い、教育機関への展開を行っている。木工連、伝産展等地域や各団体と連携した特別展等を計画している。	
次年度の実施方針	○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> 他団体の協力も仰ぎ、特別展を充実させる。 新蔵品展等を通じて、収蔵資料の公開に努める。 関連イベントを充実させ、多くの人に興味を持って参加してもらえる展示とする。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	1,604	1,190	2,150	3,309
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	17	13	23	36
	受益者	一般市民	(B)	93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	伝統文化の継承や高山の町並みの理解につながる特別展や新蔵資料紹介企画展等を開催する。	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 学芸員によるギャラリートークや子供向けの教育普及事業の充実 「まつりを継ぐ」「高山本線開通と中部山岳国立公園」「高山の寺院建築と飛騨の匠」「岐阜県美術館移動展」「飛騨の伝統的工芸品展」「新蔵資料展」など、特別展を開催 	事業実施の課題	これまで足を運んだことのない方にも興味を持っていただけるように、展示内容のみでなく、教育普及事業など様々な工夫をする必要がある。
------	--	---------	---	---------	--

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		2,150	3,309	1,159	2,000	2,000	・精算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	2,150	3,309	1,159	2,000	2,000		